

夜明け前(民俗資料館)見学

12月13日(火)に、社会科の「暮らしの中に伝わる願い」の校外学習で、民族資料館「夜明け前」に行きました。



市役所の木村さんに、建物の説明を聞きました。この建物は今から約150年前に建てられ、20年前にこの国分寺に運ばれたようです。江戸時代の物だと聞き、3年生はとてもおどろいていました。

建物の周りにも昔の人の工夫が隠されていました。屋根は、茅葺でできており、雨が降った時に板よりも音が静かで暖かいということ、家の周りには、現在の雨どいの代わりになる物が地面に石で作られていることを知りました。



家の中に入りました！なんと…真っ暗！出入口の扉を開けても薄暗く、とても寒かったです。

昔の家は中からの鍵しかないということを知りました。昔は大家族だったので常に誰かが家にいたからだそうです。



特別に鍵の開け閉めをさせていただきました。



洗濯板…つるべ井戸から汲んだ井戸水を桶に入れ、その水を使って洗濯板でごしごしと着物を洗ったそうです。



お風呂…土間の片隅にぽつんと置いてあり、真っ暗で壁もない所に入ったようです。3年生は「入りたくないな…」とつぶやいていました。



しよいこ…現在のランドセルです。二宮金次郎もしよいこにたくさんの木を縛り、本を読んでいたようです。



特別に雨戸も開けさせていただき、息が上がりながらも楽しいと言っていました。昔は子どもの仕事だったようです。



昔から残っている道具を分かりやすく説明して下さいました。そして、たくさん
のことを体験させていただき、昔の人びとの
願いや生活の様子を考えることができました。

**説明してくださった木村さん、お忙しい中たくさん
のことを教えていただきありがとうございました。**